

木材価格市況標準相場

令和5年9月4日

東京木材問屋協同組合
価格市況調査委員会

○今月の価格動向

(1) 値上げ品目	2
合板	2
(2) 値下げ品目	8
国産材構造材	6
北洋材・北欧材	2

○今月の市況動向

8月の商況は、夏季休暇等の要因もあるが、荷動きは低調との報告が多く、8品目で下げ評定となった。しかしながら、値下がり品目の下げ幅は、確実に小さくなっている内容であった。

(国産材) 秋田では猛暑の中、工場で1度に5人が熱中症になったとの報告があった。全国的に、原木、製品共に、動きは低迷している。先月と同様に、構造材が値を下げた。役物では、高くなったスプルス の代替えとして、吉野桧が売れたとの話もあった。

(輸入材) 荷動きは低調で、中国木材(株)鹿島工場の火災については、今のところ影響は出ていない。北米の山火事は例年以上に被害が出ているが、こちらも大きな影響は出ていない。東京木材埠頭の在庫量は多くはないが、米材製品と北欧材においては、入荷が出荷を上回った。

(合板) 国産針葉樹構造合板は、メーカーの減産継続によって、需給バランスは何とか保たれている。輸入合板では、型枠用塗装合板の引き合いが強くなっているとの報告があった。